

[小面積向き]

ジョリパット不燃
JQ-200シリーズ
さざ波仕上げ
施工の手引き

平成19年5月25日【初版】

アイカ工業株式会社
第二R&Dセンター
建設樹脂開発グループ

<使用材料>

材 料	商 品 名	概 要	荷 姿	標準施工面積
シーラー	ジヨリハットシーラー JS-500	水性タイプアクリル系 1液型透明シーラー	18kg石油缶	約51.4㎡/缶
主 材	ジヨリハット不燃 JQ-200シリーズ 標準色 JQ-200、JQ-□□□□ (□…数字) 特注色 JQ-200△○○○ (△…英字、○…数字)	アクリル共重合樹脂 水性仕上塗材	20kg缶	約 8㎡/缶

<主な施工道具>

- ・ステンレスゴテ (角ゴテ)

<下地調整>

標準下地は、石膏ボード (プラスターボード) 又はモルタルとする。

<さざ波仕上げ施工方法>

1. シーラー塗布

配 合	JS-500	18kg
	清 水	18ℓ
塗 布 量	0.07kg/m ²	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

3時間以上48時間以内

2. 主材 下塗り

・ ジョリパット不燃を無希釈で0.8kg/m²となるようステンレスゴテで平滑に塗布する。

夏期 4時間以上

冬期 12時間以上

乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

3. 主材 配り塗り

・ ステンレスゴテでジョリパット不燃が約1.5kg/m²となるように均一に配り塗りをする。

追かけ塗り（5分以内）

4. パターン付け

配り塗りしたジョリパット不燃が乾燥しないうちに、角ゴテを縦に使用し、ジョリパット不燃の表面に対しコテを少し傾け、ジョリパット不燃を削り取るような感覚でパターン付けする。(図-1)

24時間以上放置して乾燥させる。

＜施工のポイント＞

- ・ エッジをきかせて塗りつける要領で、上から下へ段差パターンを付ける。

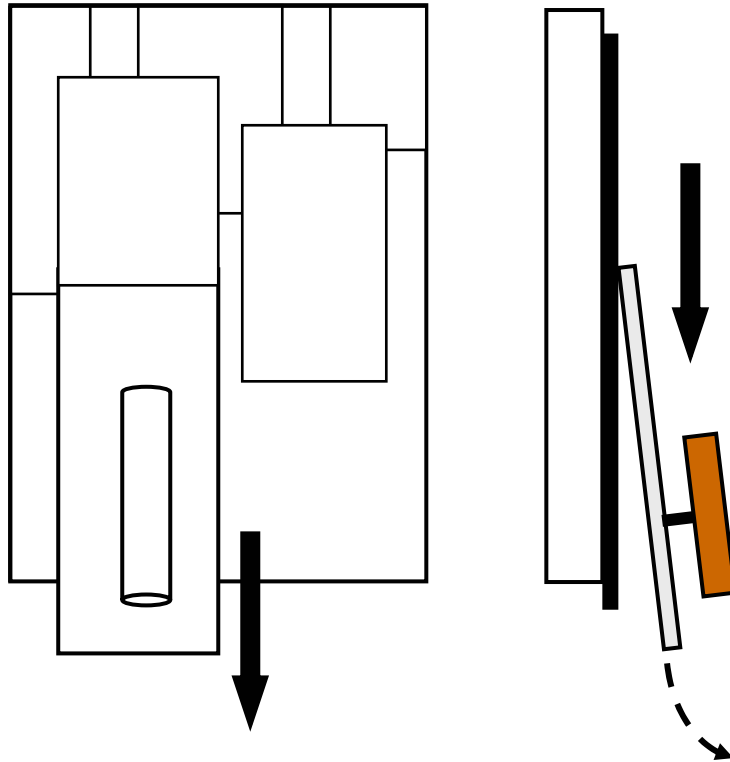


図-1

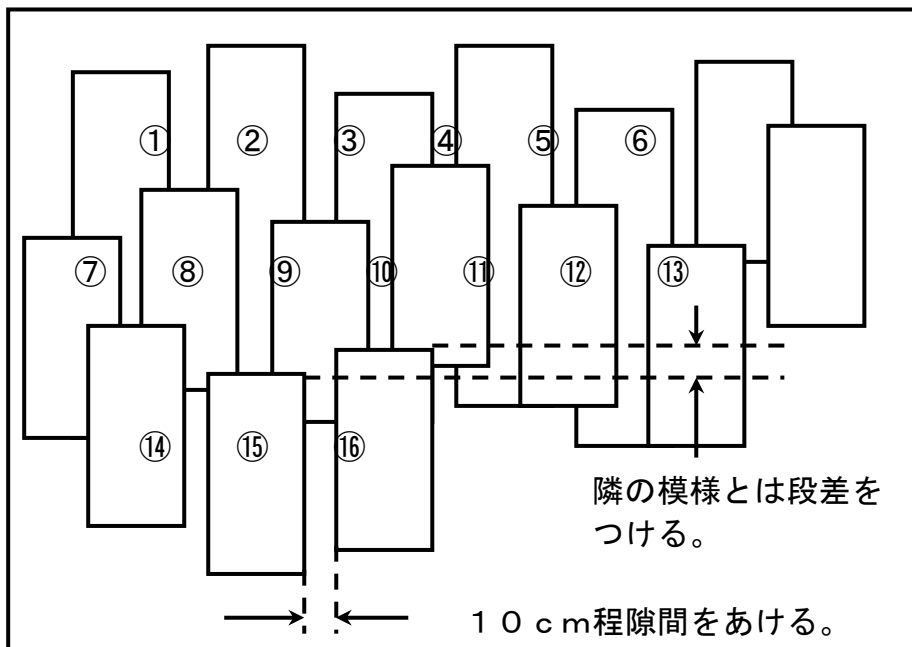


図-2

- ・ エッジに付着したジョリパット不燃はこまめに除去する。(コテがきれいでない場合、ジョリパット不燃がコテの両側からはみ出て、汚い模様になります。)

<施工の注意事項>

- ・ 施工場所の気温が5℃以下、湿度85%以上の場合、原則として施工を行わないで下さい。やむを得ず施工する場合は、採暖などの養生を行って下さい。
- ・ 施工前に必ずコンパネ等で試し塗りをを行い、仕上がり、乾燥性を確認して下さい。
- ・ 横模様のさざ波仕上げは、施工が困難な為、きれいに仕上がりにません。
- ・ コテの大きさや形状によってパターンは多少異なります。
- ・ 何度もパターンの手直しをすると、ジョリパット不燃が乾燥して皮張りをおこし、仕上がりが悪くなるため、速やかにパターン付けを行って下さい。2人1組で（配り1人パターン付け1人）施工を行うと効率が良いです。
- ・ 乾燥が比較的速いため、塗り継ぎ時間に注意して下さい。（特に大面積を施工する場合は、作業人工や化粧目地による分割を検討して下さい。）
- ・ 塗板見本及び現場施工時のパターンの状態を、施主等の責任者の承認をいただいた上で施工を進める。

以 上